

第 43 回全国 JOC ジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会岩手県予選会
2 次要項

(1) 競技会について

◆先行入場について

実施しない。また、控え場所は指定の場所に取り、それ以外はフリースペースに場所をとること。なお、場所を取る際は必要以上に控え場所を広げずに、譲り合い且つ選手の安全を確保するよう密にならないように心がけること。

◆選手開門時間とウォーミングアップ時間

(1 日目/女子) 所定の時刻より順次検診を行い入場する。

検温・体調チェック後入場 8:45～

ウォーミングアップ 9:00～10:30

競技開始時刻 11:00

(2 日目/男子) 出場する最初の種目順に入場する

プログラムNo.21～26 に出場する選手 7:00～7:15 検温・体調チェック・更衣

7:30～8:30 ウォーミングアップ

8:30～8:45 更衣

〃 No.27 以降に出場する選手 7:15～7:30 検温・体調チェック・更衣

7:45～8:45 ウォーミングアップ

8:45～9:00 更衣

競技開始時刻 9:30

◆ウォーミングアップ（競技前）について

- (1) 指導者によるホイッスルの使用を禁止する。
- (2) パドル・コード・シュノーケルの使用を禁止する。使用しても良いものはブイ・フィンとする。
- (3) 1～4 レーンは常時ダッシュレーンとする。公式スタートは実施しない。

◆ウォーミングアップ（競技中）について

- (1) サブプールを常時開放する。
- (2) パドル・コード・シュノーケルの使用を禁止する。使用しても良いものはブイ・フィンとする。
- (3) 飛込を禁止とする。

◆競技について

- (1) 本競技会は、2020 年度（公財）日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。
- (2) 競技はすべてタイムレース決勝とし、タイムスケジュール通り実施する。
- (3) FINA（国際水泳連盟）公認の水着を着用すること。
- (4) 競技を棄権する場合の棄権届の提出を不要とする。
※招集所での点呼で出席を確認できない選手は自動的に棄権として扱う。
- (5) 競技終了後は直ちに自レーンより退水すること。
- (6) 1500m 自由形における 500m、1000m のコールは行わない。なお、1450m に振鈴を行う。

- (7) ゴールタッチはタッチ板の有効面に確実にタッチすること。
- (8) 水着及び身体へのテーピング等は禁止する。ただし治療目的の場合は審判長の許可を得て出場することができる。
 - ※治療であっても複数の指をまとめる、あるいは筋肉へのサポート効果がある可能性がある場合、競技力が向上する可能性がある場合は許可しない。
- (9) バケツは設置しないため、前レースに影響がないようにプールサイド、あるいは自レーンで水を浴びること。**(※前組のレース中に自レーンで水を浴びることを禁止する)**
- (10) 競技の動画配信について
 - 編集後、競技の動画を YouTube で配信する。なお、live 配信ではないので留意すること。

◆招集について

- (1) 招集は該当する競技のタイムテーブル時刻 20 分前から開始する。なお招集所前に密集することを禁ずる。
- (2) 招集所ではマスクを着用し、十分なソーシャルディスタンスを保つこと。また外した時はポケットに収納し他者と会話をしないこと。なお、レース直後（息が上がっている状態）ではマスクの着用を避け、呼吸が落ち着いてから着用すること。
- (3) 競技前に脱いだ衣服を入れる袋を用意し、持ち歩くこと。なお、脱衣カゴに直接衣服を入れないように徹底すること。**
- (4) 招集前に自身が出場する組とレーンを確認すること。
- (5) 招集所の場所は予め確認しておくこと。

(2) 会場内の使用方法について

◆館内では泳ぐとき以外はマスクを着用すること。

◆バックヤードの廊下は天井崩落の危険があるため使用を禁止する。

◆旧更衣室の使用を禁止する。

◆声を発する応援を禁止する。

◆更衣室について

- (1) 流水プール奥のプールサイドに各チームが使用できる簡易更衣テントブースを設ける。
- (2) ソーシャルディスタンス確保のため、更衣室を使用する際は最低限の着替えに留め、複数人で隣り合ったロッカーを同時に使用しないこと。
- (3) 更衣室の入室人数は概ね 30 名以下とする。各選手は必ず留意すること。

◆選手控え場所について

指定された場所、あるいはフリースペースを使用し、控え場所でもソーシャルディスタンスに留意すること。また、政府指針でも飲食時の感染拡大リスクが公表されていることから飲食時は会話をしないよう十分注意すること。また、可能な限り敷物等を共有させない等の感染防止対策を考慮すること。

◆2 階ギャラリーを通路として開放する。よって 2 階ギャラリーでの観戦を認めない。

(3) 新型コロナウイルス感染症対策について

◆観客の動員については無観客で競技会を実施する。

◆入退館について

(1) 入館について

- (1) 入口で入館される方全員の健康チェック表確認、及び検温を行う。シートに不備があった場

第 43 回全国 JOC ジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会岩手県予選会

合、健康チェック表を忘れた場合、37.5 度以上の熱がある場合、新型コロナウイルス感染症の疑いがある場合は入館できない。

(2)競技役員、各団体（チーム）、保護者代表者の入場時刻を分け、3 密回避を徹底する。入場口に集団を作らないこと。

(2) 退館について

(1)自分の競技が終わった選手は速やかに退館すること。

(2)館内・館外で団体（チーム）ミーティングを禁止する。

(3) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対応について

(1)大会中に新型コロナ感染症の疑いがある者が出た場合、大会を中止する。

(2)感染症の疑いがある者、濃厚接触の疑いがある者を隔離する。

(3)感染症の疑いがある者、濃厚接触の疑いがある者を特定すること、SNS 等で拡散すること、誹謗中傷することは禁止する。なおすべての関係者の中で本連盟が作成したガイドラインを遵守しなかった場合は、当連盟臨時理事会を行い、罰則措置を科す場合がある。

(4)岩手県帰国者・接触者相談センター（019-651-3175）に指示を仰ぎ、行動指示があるまですべての関係者は帰宅できない。

(5)ガイドラインに従わない場合は退場処分とする。

(6)食事は極力避け、食事の必要がある場合は以下を守ること。

・食事中に会話をしないこと。

・十分なソーシャルディスタンスを保つこと。（2m 以上）

・他者と取り分けをしないこと。

・ゴミは必ず持ち帰ること。（※競技役員、及び帯同役員も必ず持ち帰ること）

・ペットボトルなど口をつけたものは持ち帰ること。（マスクも捨てずに持ち帰ること）

(7)大会前日から大会当日を含め、新型コロナウイルス感染症対策により休校措置に該当する学校の生徒、及び職場等で自宅待機を命じられている方、また、その同居するご家族等は出場できませんので、出場する団体の責任者に申し出ること。なお、団体責任者はその旨大会本部に申し出ること。

(4) その他

(1)熱中症に注意し、こまめに水分を補給すること。（他者と共有しないように注意）

(2)プールサイドは上履きに限り使用を認める。また靴底が（白色・ゴム色）の色に限る。なお、ロビーに行く際は必ず履き替えること。

(3)忘れ物は、大会中は入場口インフォメーションに保管し、大会後は 1 か月間岩手県水泳連盟で保管する。その後は廃棄する。

(4)問い合わせは（一社）岩手県水泳連盟 019-681-7155 まで。